

## 令和3年度 生活習慣関連疾患の動向に関する調査

令和5年6月  
健康保険組合連合会  
政策部 調査分析グループ

本調査は、1,308 組合提供の診療報酬明細書（レセプト）データをもとに、令和3年度の生活習慣関連疾患の受診状況及び医療費の動向をとりまとめたものです。

### 【調査結果のポイント】

#### 1. 内分泌・栄養・代謝及び循環器系疾患の医療費の概況

(医療費及び構成割合)

- 疾病医療費総額（3兆5,941億円）に占める医療費の割合をみると、内分泌・栄養・代謝が9.7%（3,502億円）、循環器が9.5%（3,413億円）となっている。

(対前年度比伸び率)

- 内分泌・栄養・代謝は4.2%の増加。入院：▲3.7%減少、入院外：4.8%増加。
- 循環器は1.9%の増加。入院：0.3%増加、入院外：3.1%増加した。

#### 2. 生活習慣関連10疾患の受診状況

(加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）)

- 医科入院では、高血圧症が0.53人と最も多く、次いで、糖尿病：0.44人、高脂血症：0.31人。
- 医科入院外では、高血圧症が56.2人と最も多く、次いで、高脂血症：56.0人、糖尿病：39.8人。

#### 3. 生活習慣関連10疾患の医療費の動向

(医療費及び構成割合)

- 医科入院（8,671億円）に占める10疾患医療費（524億円）の割合は6.0%。脳血管障害が2.4%（208億円）と最も高く、次いで、虚血性心疾患：1.7%（143億円）、糖尿病：0.7%（63億円）。
- 医科入院外（2兆7,270億円）に占める10疾患医療費（4,042億円）の割合は14.8%。糖尿病が5.1%（1,383億円）と最も高く、次いで、高血圧症：3.5%（967億円）、高脂血症：2.7%（728億円）。

(受診者1人当たり医療費)

- 医科入院では、高い順に①人工透析：597万円、②脳血管障害：588万円、③虚血性心疾患：369万円。
- 医科入院外では、同①人工透析：456万円、②糖尿病：13万円、③脳血管障害：10万円。

## 目次

本調査における留意点、用語の定義	3
1. 疾病 19 分類「内分泌・栄養・代謝」及び「循環器」系疾患	
(1) 医療費の概況	6
(2) 入院・入院外別にみた医療費の動向	
1) 医科入院	8
2) 医科入院外	10
2. 生活習慣関連 10 疾患の受診状況	
(1) 加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均）	
1) 医科入院	12
2) 医科入院外	13
(2) 10 疾患でみた受診者数（年度平均）の構成割合	
1) 医科入院	14
2) 医科入院外	14
(3) 年齢階層別にみた受診者数（年度平均）及び構成割合	
1) 医科入院	15
2) 医科入院外	18
3. 生活習慣関連 10 疾患の医療費の動向	
(1) 医療費の概況	
1) 医科入院	22
2) 医科入院外	26
(2) 10 疾患でみた医療費の構成割合	
1) 医科入院	30
2) 医科入院外	30
(3) 受診者 1 人当たり医療費	
1) 医科入院	31
2) 医科入院外	32
(4) 年齢階層別にみた医療費及び構成割合	
1) 医科入院	33
2) 医科入院外	36
(5) 推計平均在院日数及び推計 1 入院当たり医療費、推計新規入院件数	
1) 推計平均在院日数	39
2) 推計 1 入院当たり医療費	39
3) 加入者 1,000 人当たり推計新規入院件数	40
【参考】入院医療費の 3 要素分解について	41

## 本調査における留意点、用語の定義

### 1. 生活習慣関連疾患について

調査対象とした生活習慣関連疾患は、疾病 19 分類上の「内分泌・栄養・代謝系疾患」及び「循環器系疾患」とし、個々の疾患については、厚生労働省「標準的な健診・保健指導に関するプログラム（確定版）」【平成 19 年 4 月】掲載の以下 10 疾患を対象としている。

対象疾患名（診療行為）	ICD-10 等
①糖尿病	E11～E14
②脳血管障害	I61、I639、I64
③虚血性心疾患	I209、I259、I219
④動脈閉塞	E145
⑤高血圧症	I10
⑥高尿酸血症	E790
⑦高脂血症	E785、E780、E781
⑧肝機能障害	K760、K701
⑨高血圧性腎臓障害	I129、N26
⑩人工透析	診療行為区分 J038

出典：厚生労働省「標準的な健診・保健指導に関するプログラム（確定版）」p.146（平成 19 年 4 月）

### 2. 調査対象 1,308 組合の医療費データ及び加入者数

1,308 組合の診療報酬明細書（レセプト）データを集計対象とした。また、対前年度比伸び率の算出にあたっては、1,308 組合のうち、データ提供のあった令和 3 年度と 2 年度同一の 1,235 組合を集計対象としている。

#### 1) 集計対象とした診療報酬明細書（レセプト）データ

1,308 組合	レセプト件数（件）	医療費総額（円）
医科・調剤【計】	257,588,904	3,757,658,653,210
医科	157,738,440	2,851,065,457,200
調剤	99,850,464	906,593,196,010

1,308 組合	加入者数（人）
本人・家族【計】	27,191,747
本人	15,829,097
家族	11,362,758

2) 対前年度比伸び率：1,235 組合（1,308 組合のうち令和 3 年度と 2 年度同一組合）

1,235 組合	レセプト件数 (件)		医療費総額 (円)	
	令和 3 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
医科・調剤【計】	233,765,483	215,836,483	3,414,033,272,510	3,141,647,031,400
医科	143,221,260	132,217,063	2,592,519,990,330	2,363,024,587,550
調剤	90,544,223	83,619,420	821,513,282,180	778,622,443,850

1,235 組合	加入者数 (人)	
	令和 3 年度	令和 2 年度
本人・家族【計】	24,739,379	24,951,643
本人	14,438,671	14,433,025
家族	10,300,811	10,518,672

3. 疾病別医療費及び受診者数の取り扱いについて

- 本調査の疾病分類医療費及び受診者数は、1 枚の診療報酬明細書（レセプト）に記載された 1 ないし複数の疾病名に対して、各疾病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、疾病名ごとに医療費及び受診者数を振り分けた結果に基づき算出した、推計医療費及び推計受診者数である。
- また、入院外の医療費については、上記同様の手法により医科レセプトと紐づく調剤レセプトから傷病名ごとに調剤医療費を分配し合算しているため、調剤医療費を含んだ金額となっている。
- このため、診療区分別医療費を合計した医療費【計】と疾病分類別医療費を合計した疾病分類医療費【計】が必ずしも一致しない場合がある。
- なお、公的な疾病統計におけるレセプトに記載された 1 ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づいた、1 レセプト 1 傷病名による医療費及び受診者数とは異なる点に留意されたい。

4. 用語の定義

① 加入者 1 人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除したもの。

② 受診率（1,000 人当たりレセプト件数）

当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除し 1,000 倍したもの。

③ レセプト 1 件当たり日数

当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したもの。

④ 1 日当たり医療費

当該年度の医療費を診療実日数で除したもの。

⑤ 加入者 1 人当たり医療費の 3 要素分解

加入者 1 人当たり医療費は、受診率、1 件当たり日数、1 日当たり医療費の積に分解することができる。

(※加入者 1 人当たり医療費 = 受診率 × 1 件当たり日数 × 1 日当たり医療費)

⑥ 平均受診者数

当該年度の各月の受診者数の和を 12 で除したもの。これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、受診者数については当該月に報告のあった受診者数に他の月と同一の受診者が計上される場合があることから、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を 12 で除した推計値を用いている。

⑦ 加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

当該年度の平均受診者数を、当該年度の平均加入者数 (各月末の加入者数の和を 12 で除したもの) で除し 1,000 倍したもの。

⑧ 受診者 1 人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均受診者数で除したもの。

なお、上記①の加入者 1 人当たり医療費は、加入者 1 人当たり受診者数、受診者 1 人当たり医療費に分解することができる。

(※加入者 1 人当たり医療費 = 加入者 1 人当たり受診者数 × 受診者 1 人当たり医療費)

# 1. 疾病 19 分類「内分泌・栄養・代謝」及び「循環器」系疾患

## (1) 医療費の概況

### ① 医療費及び構成割合

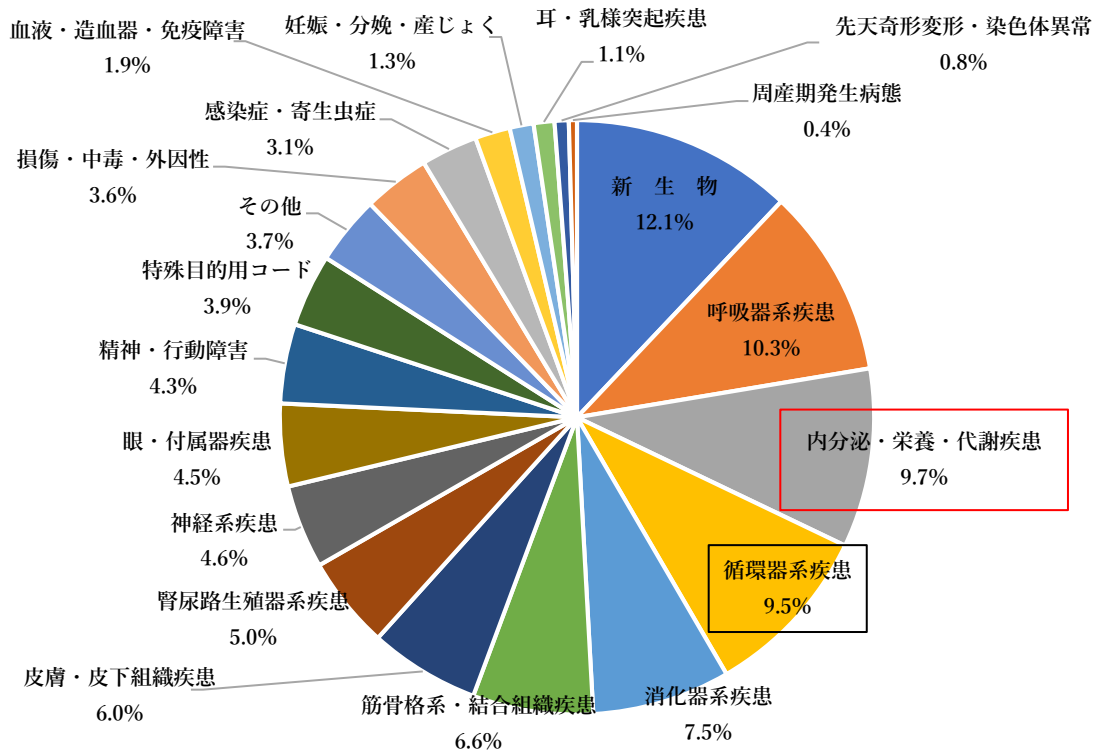
- 疾病分類医療費計 (3 兆 5,941 億円) に占める医療費割合をみると、内分泌・栄養・代謝が 9.7% (3,502 億円)、循環器が 9.5% (3,413 億円) となっている。
- 内分泌・栄養・代謝 (9.7%) の内訳は、医科入院：0.6%、医科入院外：9.1%。
- 循環器 (9.5%) の内訳は、医科入院：3.9%、医科入院外：5.6%。

### 令和 3 年度 医療費及び構成割合

1,308 組合	医療費 (円)	構成割合 (%)
疾病分類【計】	3,594,132,046,490	(100)
内分泌・栄養・代謝系疾患【計】	350,153,599,960	9.7
(再掲) 医科入院	22,087,395,960	0.6
医科入院外	328,066,204,000	9.1
循環器系疾患【計】	341,339,726,240	9.5
(再掲) 医科入院	141,564,208,970	3.9
医科入院外	199,775,517,270	5.6

### 令和 3 年度 疾病 19 分類別医療費構成割合

#### 【医科計】



## ② 対前年度比伸び率

- 内分泌・栄養・代謝は 4.2%の増加で、入院：▲3.7%減少、入院外：4.8%増加。
- 循環器は 1.9%の増加で、入院：0.3%増加、入院外が：3.1%増加。

### 令和3年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の 1,235 組合ベース）

	伸び率 (%)
疾病分類【計】	8.7
内分泌・栄養・代謝系疾患【計】	4.2
医科入院	▲3.7
医科入院外	4.8
循環器系疾患【計】	1.9
医科入院	0.3
医科入院外	3.1

### 参考：疾病 19 分類別医療費構成割合【医科計】（前年度調査との比較）

疾病分類名	令和3年度 (1,308 組合)	(参考) 2 年度調査 (1,250 組合)
新生物	12.1%	12.7%
呼吸器系疾患	10.3%	10.0%
内分泌・栄養・代謝疾患	9.7%	10.1%
循環器系疾患	9.5%	10.0%
消化器系疾患	7.5%	7.8%
筋骨格系・結合組織疾患	6.6%	6.8%
皮膚・皮下組織疾患	6.0%	6.3%
腎尿路生殖器系疾患	5.0%	5.3%
神経系疾患	4.6%	4.7%
眼・付属器疾患	4.5%	4.7%
精神・行動障害	4.3%	4.5%
特殊目的用コード	3.9%	1.0%
その他	3.8%	3.2%
損傷・中毒・外因性	3.6%	3.8%
感染症・寄生虫症	3.1%	3.3%
血液・造血器・免疫障害	1.9%	2.0%
妊娠・分娩・産じょく	1.3%	1.5%
耳・乳様突起疾患	1.1%	1.1%
先天奇形変形・染色体異常	0.8%	0.8%
周産期発生病態	0.4%	0.4%

注) 円グラフ及び表中の「その他」は、「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「不詳」である（以下、同じ）。

(2) 入院・入院外別にみた医療費の動向

1) 医科入院

① 加入者1人当たり医療費

- 内分泌・栄養・代謝は 812 円。
- 循環器は、新生物：6,355 円に次いで高く、5,206 円となっている。





② 対前年度比伸び率

③ 内分泌・栄養・代謝は▲2.8%の減少。要因として、とくに1件当たり日数が▲2.5%、1日当たり医療費が▲1.3%それぞれ減少した。

④ 循環器は1.2%の増加。要因として、1件当たり日数が2.2%減少した一方、1件当たり日数が2.8%と増加した。

令和3年度【医科入院】対前年度比伸び率（%）（※両年度同一の1,235組合ベース）

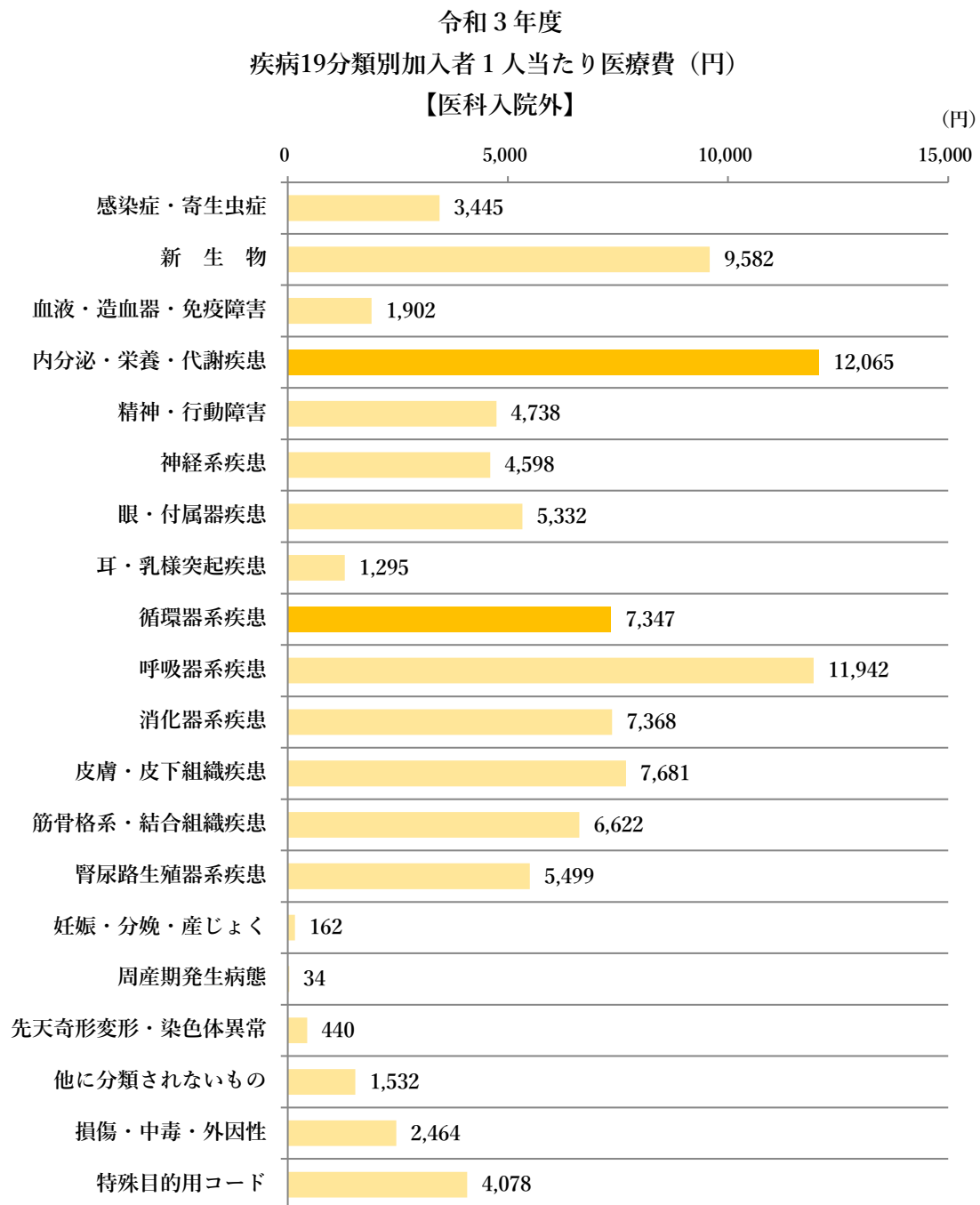
疾病分類名	加入者1人当たり <sup>1</sup> 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	▲3.4	2.4	▲3.4	▲2.6
新生物	0.9	0.9	▲4.4	4.6
血液・造血器・免疫障害	▲1.7	1.0	▲2.8	0.1
内分泌・栄養・代謝疾患	▲2.8	0.9	▲2.5	▲1.3
精神・行動障害	▲4.1	▲3.2	0.1	▲1.0
神経系疾患	▲4.2	▲2.0	▲2.3	▲0.1
眼・付属器疾患	▲0.3	▲2.9	▲5.2	8.2
耳・乳様突起疾患	▲0.5	1.5	▲4.3	2.6
循環器系疾患	1.2	0.6	▲2.2	2.8
呼吸器系疾患	13.4	7.8	▲6.2	12.2
消化器系疾患	▲2.1	▲0.0	▲2.5	0.4
皮膚・皮下組織疾患	▲4.6	0.0	▲2.7	▲1.8
筋骨格系・結合組織疾患	1.9	1.6	▲2.4	2.8
腎尿路生殖器系疾患	▲0.5	0.4	▲2.7	1.8
妊娠・分娩・産じょく	▲1.9	▲1.3	0.4	▲0.9
周産期発生病態	8.8	4.5	▲0.8	5.1
先天奇形変形・染色体異常	3.0	3.1	▲3.5	3.7
他に分類されないもの	1.0	2.8	▲3.1	1.4
損傷・中毒・外因性	▲1.8	▲2.7	▲2.1	3.1
特殊目的用コード	-	-	-	-

<sup>1</sup> 加入者1人当たり医療費＝受診率×1件当たり日数×1日当たり医療費

## 2) 医科入院外

### ① 加入者1人当たり医療費

- 内分泌・栄養・代謝は1万2,065円で、疾病19分類中、最も高くなっている。
- 循環器は6番目に高く、7,347円となっている。



## ② 対前年度比伸び率

- 内分泌・栄養・代謝は5.7%の増加。要因として、1件当たり日数、1日当たり医療費が減少した一方、受診率が7.9%と大きく増加した。
- 循環器は4.0%の増加。要因として、1件当たり日数、1日当たり医療費が減少した一方、受診率が7.2%増加した。

令和3年度【医科入院外】対前年度比伸び率（%）（※両年度同一の1,235組合ベース）

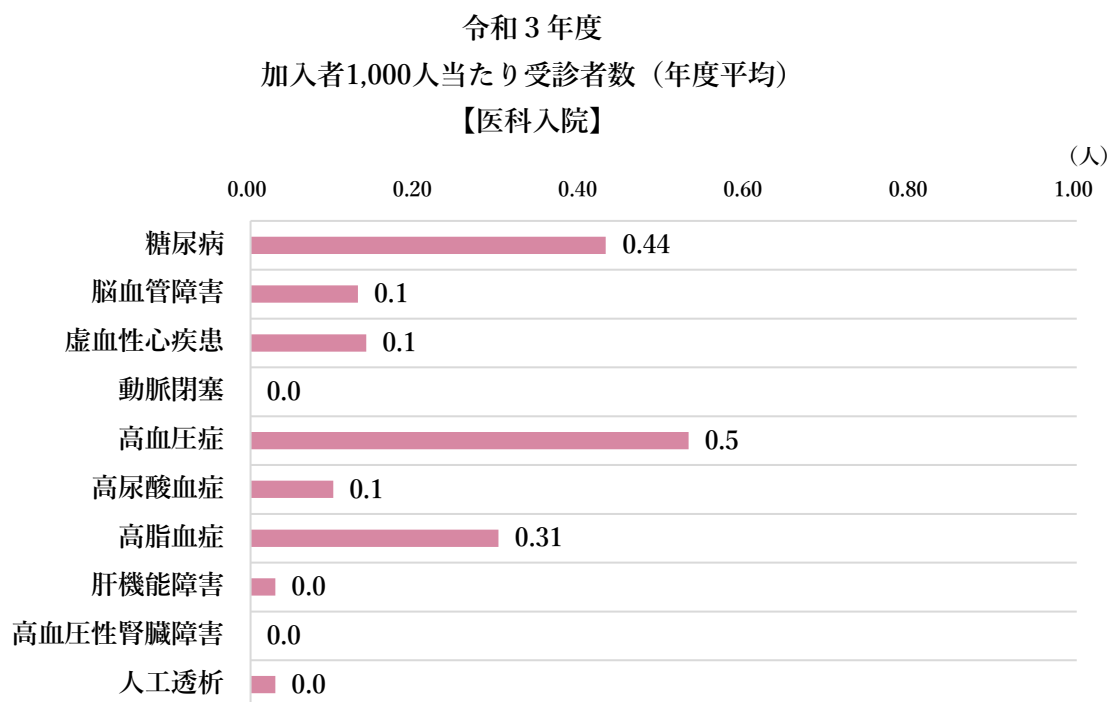
疾病分類名	加入者1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	3.1	5.5	0.0	▲2.1
新生物	6.4	9.1	▲1.9	▲1.2
血液・造血器・免疫障害	8.7	9.1	0.6	▲0.7
内分泌・栄養・代謝疾患	5.7	7.9	▲0.7	▲1.8
精神・行動障害	5.6	8.2	0.0	▲2.1
神経系疾患	10.5	8.6	▲0.6	2.3
眼・付属器疾患	4.1	3.0	0.8	0.3
耳・乳様突起疾患	13.5	10.4	0.6	2.2
循環器系疾患	4.0	7.2	▲0.7	▲2.6
呼吸器系疾患	13.4	12.7	2.0	▲1.6
消化器系疾患	8.6	7.4	▲0.7	2.0
皮膚・皮下組織疾患	5.6	3.6	0.7	0.8
筋骨格系・結合組織疾患	5.7	8.5	▲0.5	▲2.1
腎尿路生殖器系疾患	4.9	8.9	▲1.8	▲1.7
妊娠・分娩・産じょく	1.9	0.9	0.5	0.5
周産期発生病態	▲5.6	8.8	1.9	▲15.9
先天奇形変形・染色体異常	9.4	7.7	▲1.4	2.5
他に分類されないもの	20.8	22.3	▲1.9	0.6
損傷・中毒・外因性	10.1	12.6	▲2.8	0.6
特殊目的用コード	-	-	-	-

## 2. 生活習慣関連 10 疾患の受診状況

(1) 加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

### 1) 医科入院

○ 高血圧症が 0.53 人と最も多く、次いで、糖尿病：0.44 人、高脂血症：0.31 人。

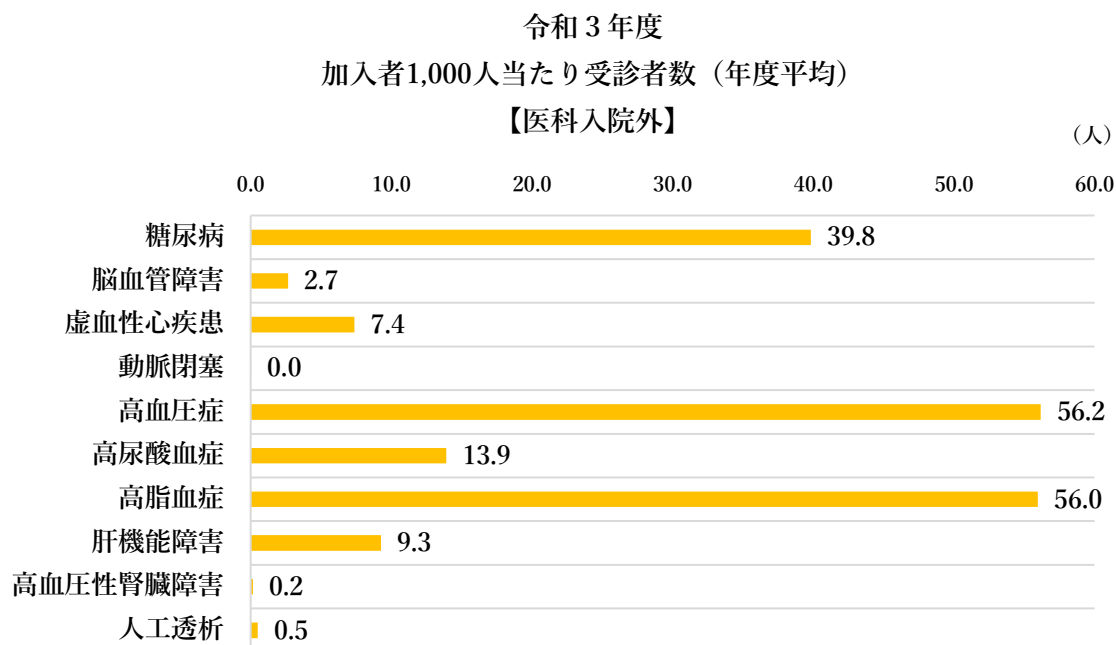


受診者数及び加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

1,308 組合	受診者数 (年度平均) (人)	加入者 1,000 人当たり 受診者数 (人)
糖尿病	12,003	0.44
脳血管障害	3,542	0.13
虚血性心疾患	3,881	0.14
動脈閉塞	26	0.00
高血圧症	14,377	0.53
高尿酸血症	2,599	0.10
高脂血症	8,307	0.31
肝機能障害	727	0.03
高血圧性腎臓障害	26	0.00
人工透析	828	0.03
合計	46,317	1.70

## 2) 医科入院外

○ 高血圧症が56.2人と最も多く、次いで、高脂血症：56.0人、糖尿病：39.8人。



### 受診者数及び加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）

1,308 組合	受診者数（年度平均） （人）	加入者1,000人当たり 受診者数（人）
糖尿病	1,082,841	39.8
脳血管障害	72,300	2.7
虚血性心疾患	200,722	7.4
動脈閉塞	737	0.0
高血圧症	1,527,565	56.2
高尿酸血症	378,031	13.9
高脂血症	1,521,716	56.0
肝機能障害	251,985	9.3
高血圧性腎臓障害	4,315	0.2
人工透析	13,971	0.5
合計	5,054,183	185.9

(2) 10 疾患でみた受診者数 (年度平均) の構成割合

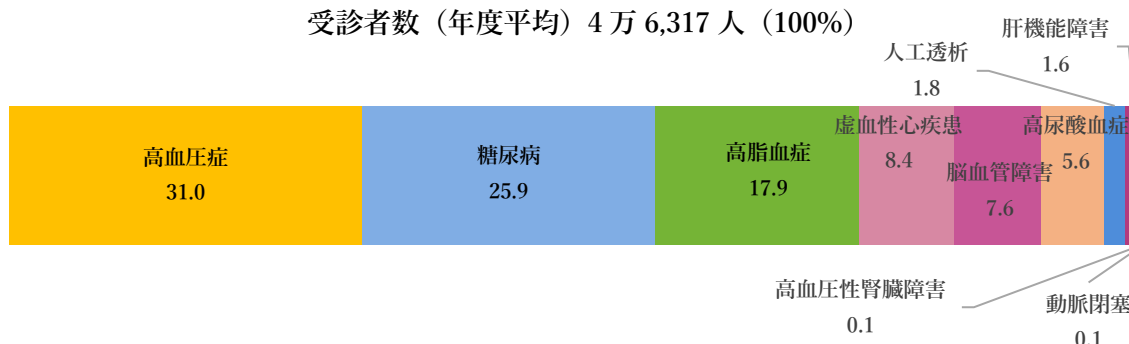
1) 医科入院

- 受診者数 (年度平均) 4 万 6,317 人のうち、高血圧症：31.0%、糖尿病：25.9%、高脂血症：17.9%となっている。また、入院外に比べ、虚血性心疾患：8.4%、脳血管障害：7.6%の割合が高い。

生活習慣関連 10 疾患受診者数 (年度平均) の構成割合 (%)

【医科入院】

受診者数 (年度平均) 4 万 6,317 人 (100%)



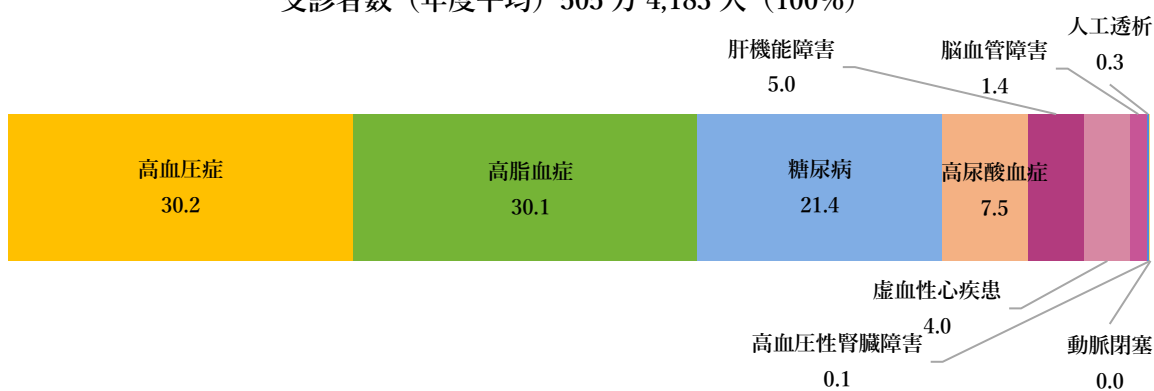
2) 医科入院外

- 受診者数 (年度平均) 505 万 4,183 人のうち、高血圧症：30.2%、高脂血症：30.1%、糖尿病：21.4%となっている。また、入院に比べ、高尿酸血症：7.5%、肝機能障害：5.0%の割合が高い。

生活習慣関連 10 疾患受診者数 (年度平均) の構成割合 (%)

【医科入院外】

受診者数 (年度平均) 505 万 4,183 人 (100%)



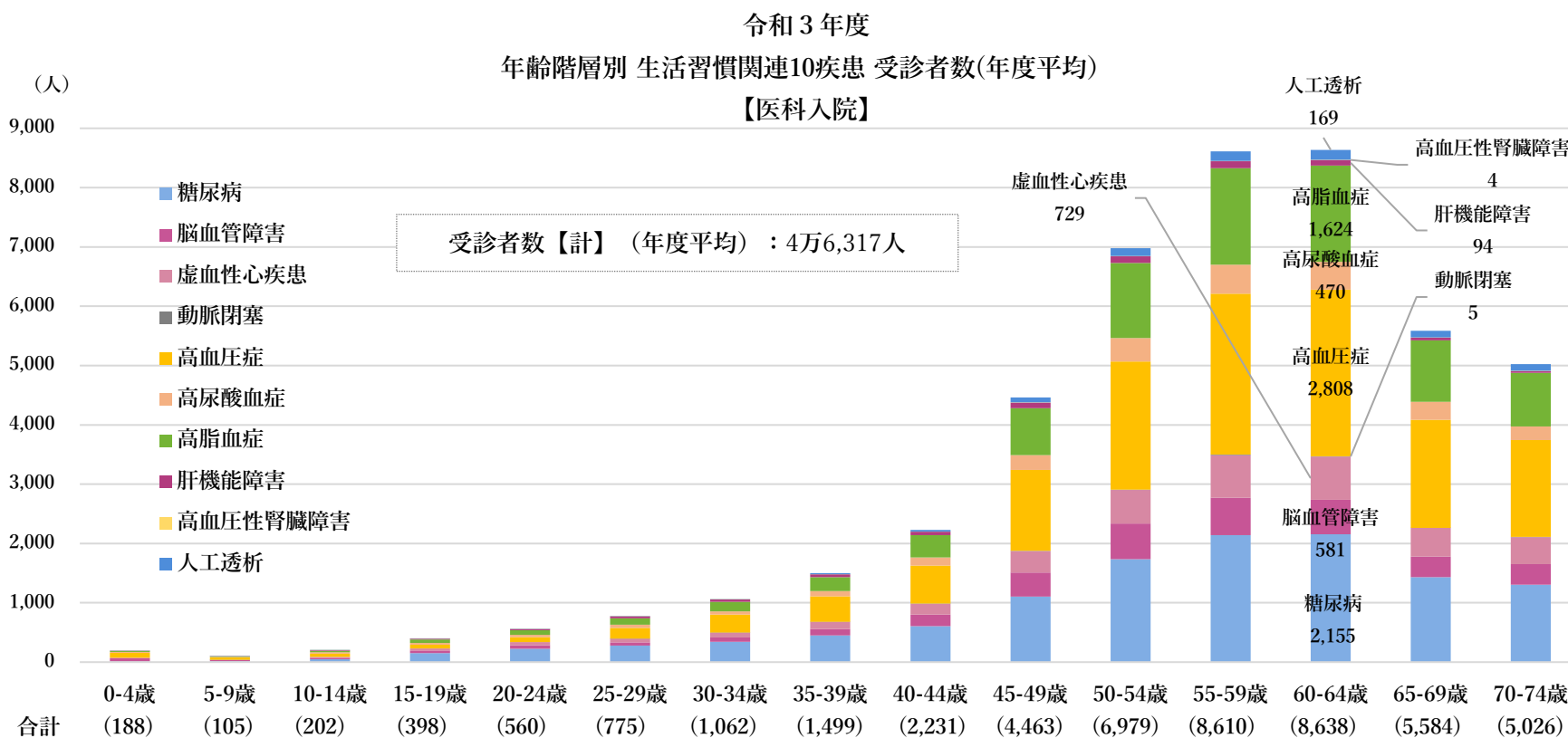
(3) 年齢階層別にみた受診者数(年度平均)及び構成割合

1) 医科入院

① 受診者数(年度平均)

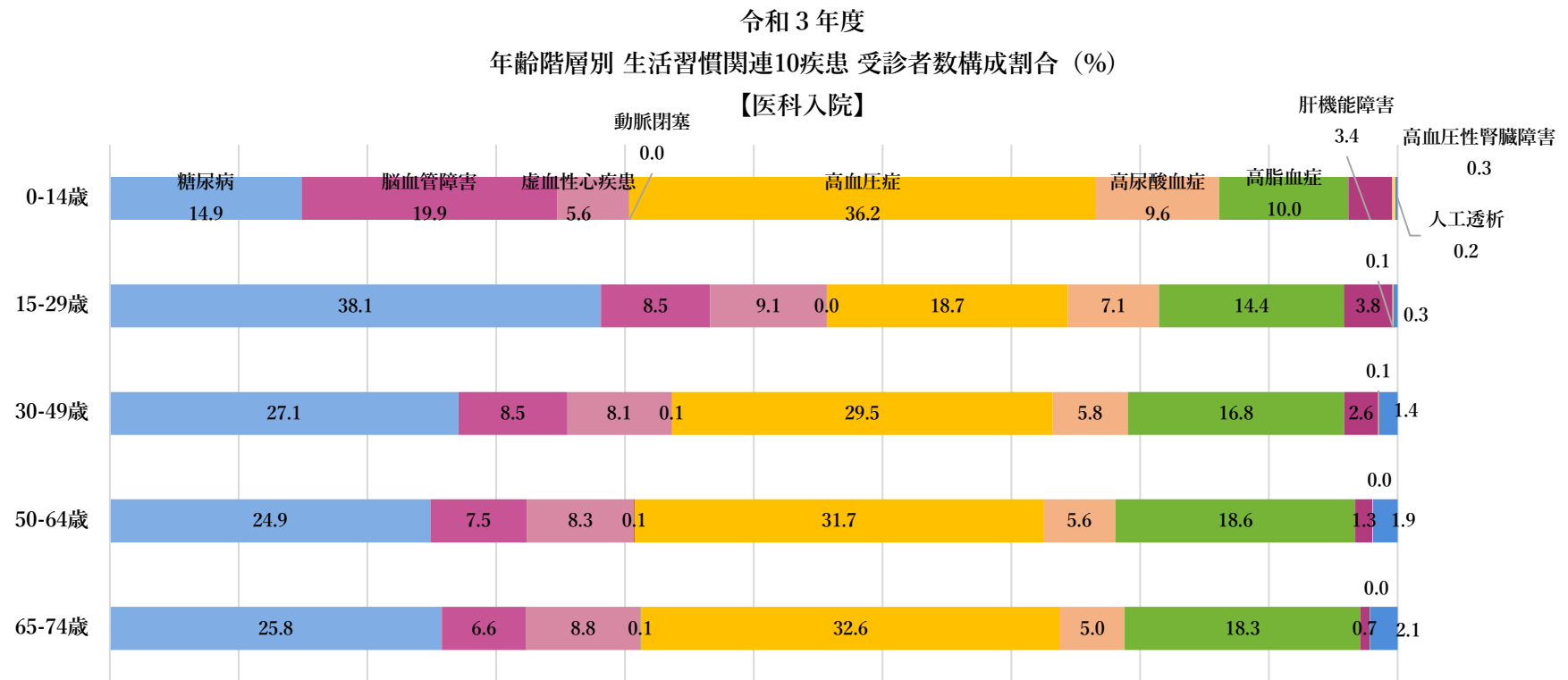
○ 総数(積み上げ)では60-64歳(8,638人)が最も多く、次いで、55-59歳(8,610人)、50-54歳(6,979人)。

○ 総数が最も多い55-59歳の疾患をみると、高血圧症(2,808人)が最も多く、次いで、糖尿病(1,990人)、高脂血症(1,487人)。



③ 構成割合

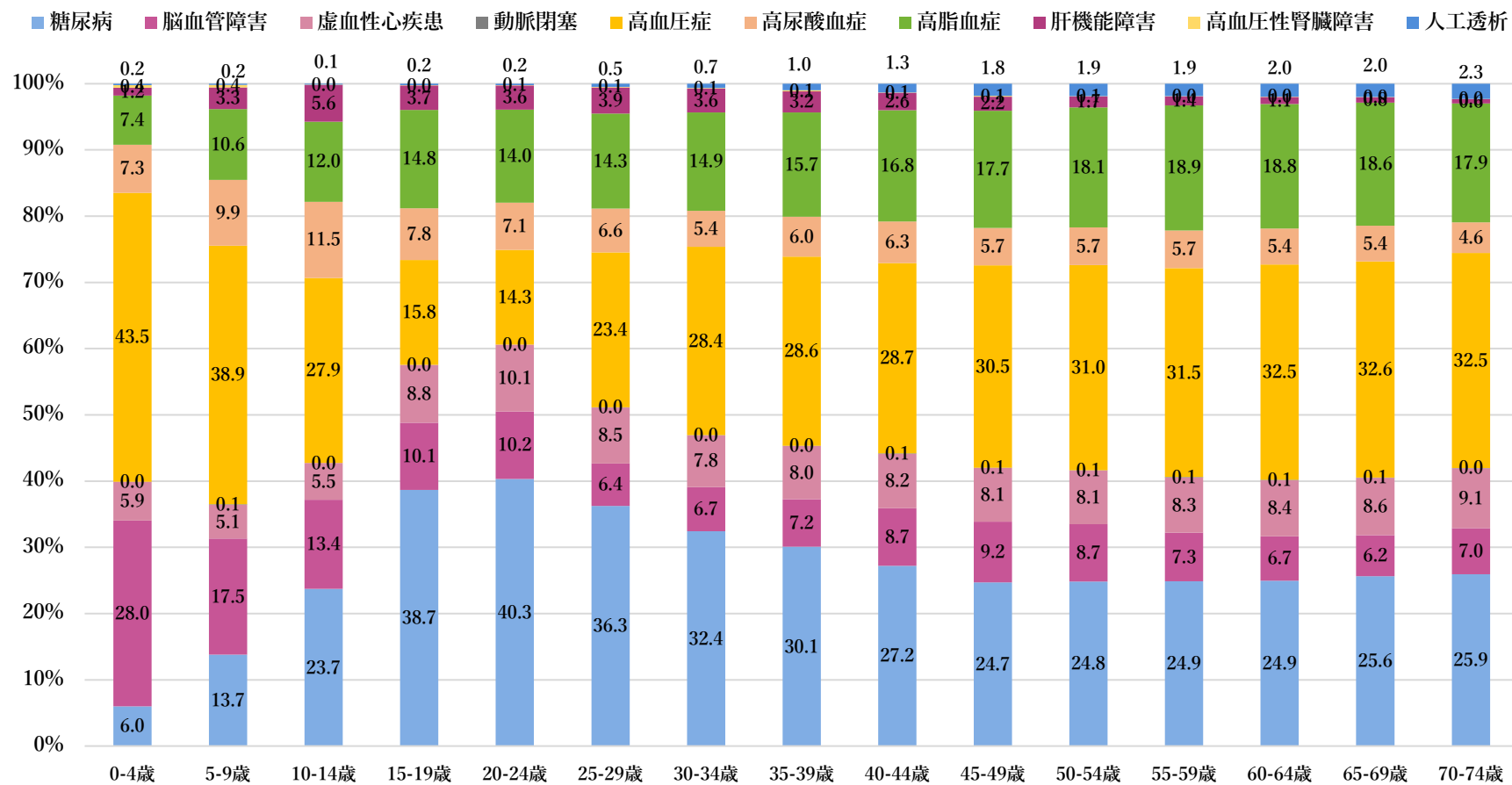
- 0-14歳では、高血圧症（36.2%）、脳血管障害（19.9%）の割合が高く、15-29歳では、糖尿病（38.1%）、高血圧症（18.7%）の割合が高い。
- 30歳以降では、高血圧症（29.5～32.6%）、糖尿病（24.9～27.1%）の割合が高く、次いで、高脂血症（16.8～18.6%）が高い割合を占める。





(参考①)

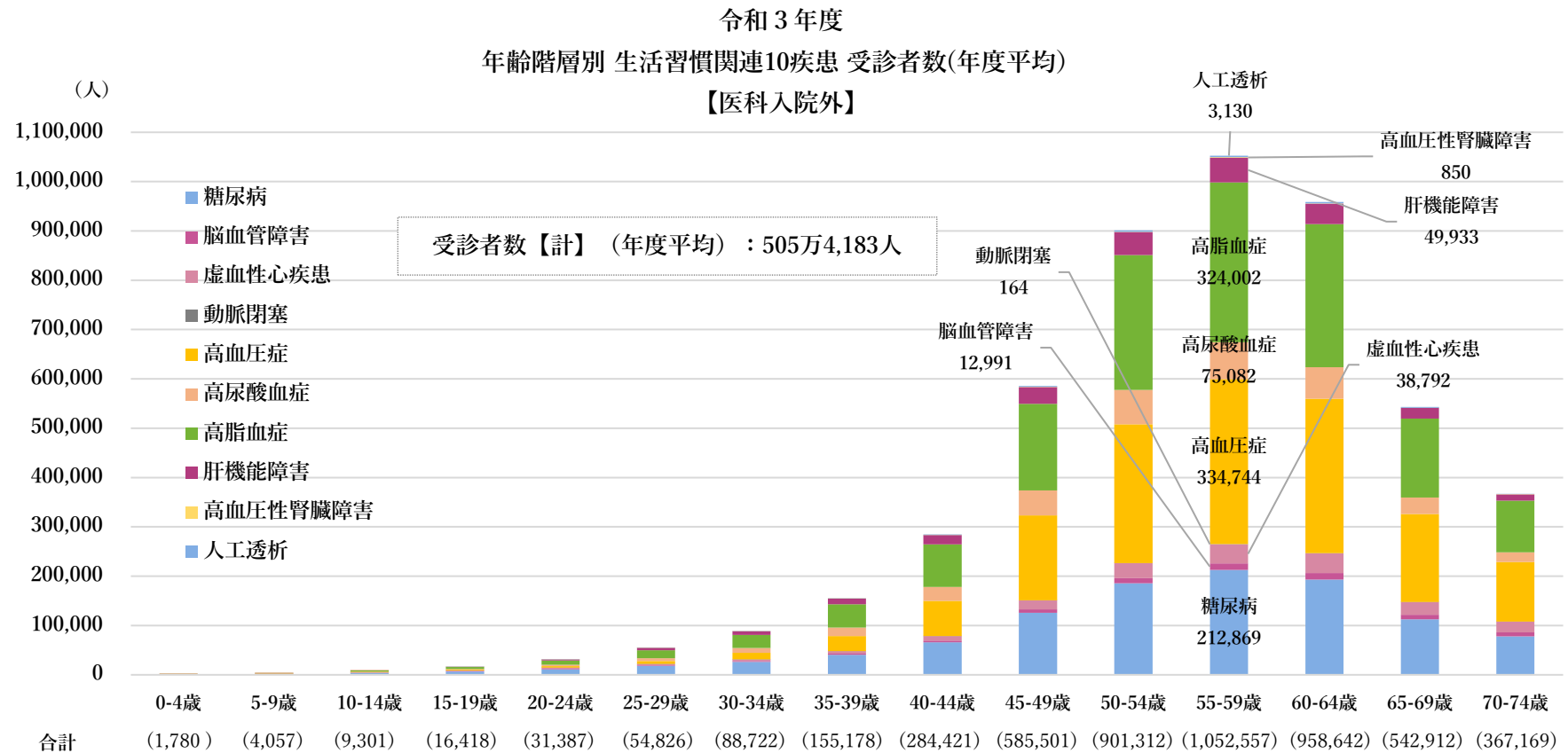
令和3年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患 受診者数構成割合 (%)  
【医科入院】



## 2) 医科入院外

### ① 受診者数（年度平均）

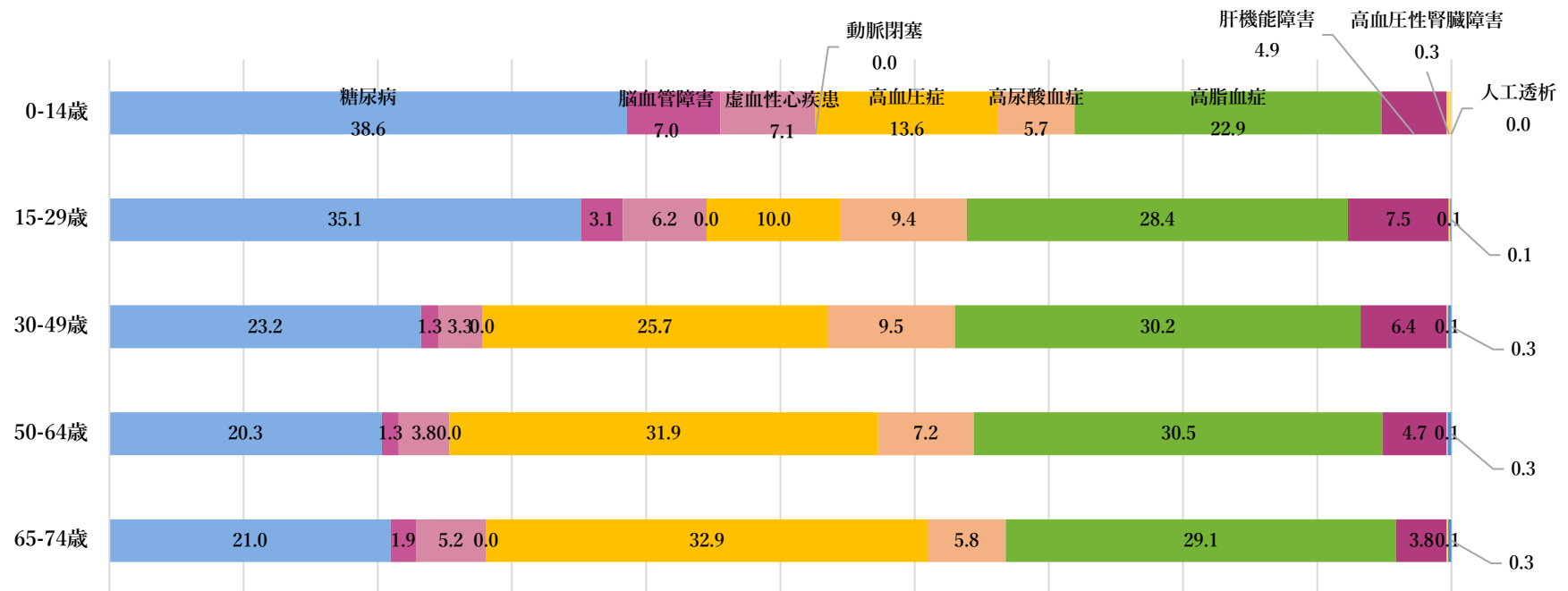
- 総数（積み上げ）では55-59歳（105万2,557人）が最も多く、次いで、60-64歳（95万8,642人）、50-54歳（90万1,312人）。
- 55-59歳の疾患をみると、高血圧症（33万4,744人）が最も多く、次いで、高脂血症（32万4,002人）、糖尿病（21万2,869人）。



② 構成割合

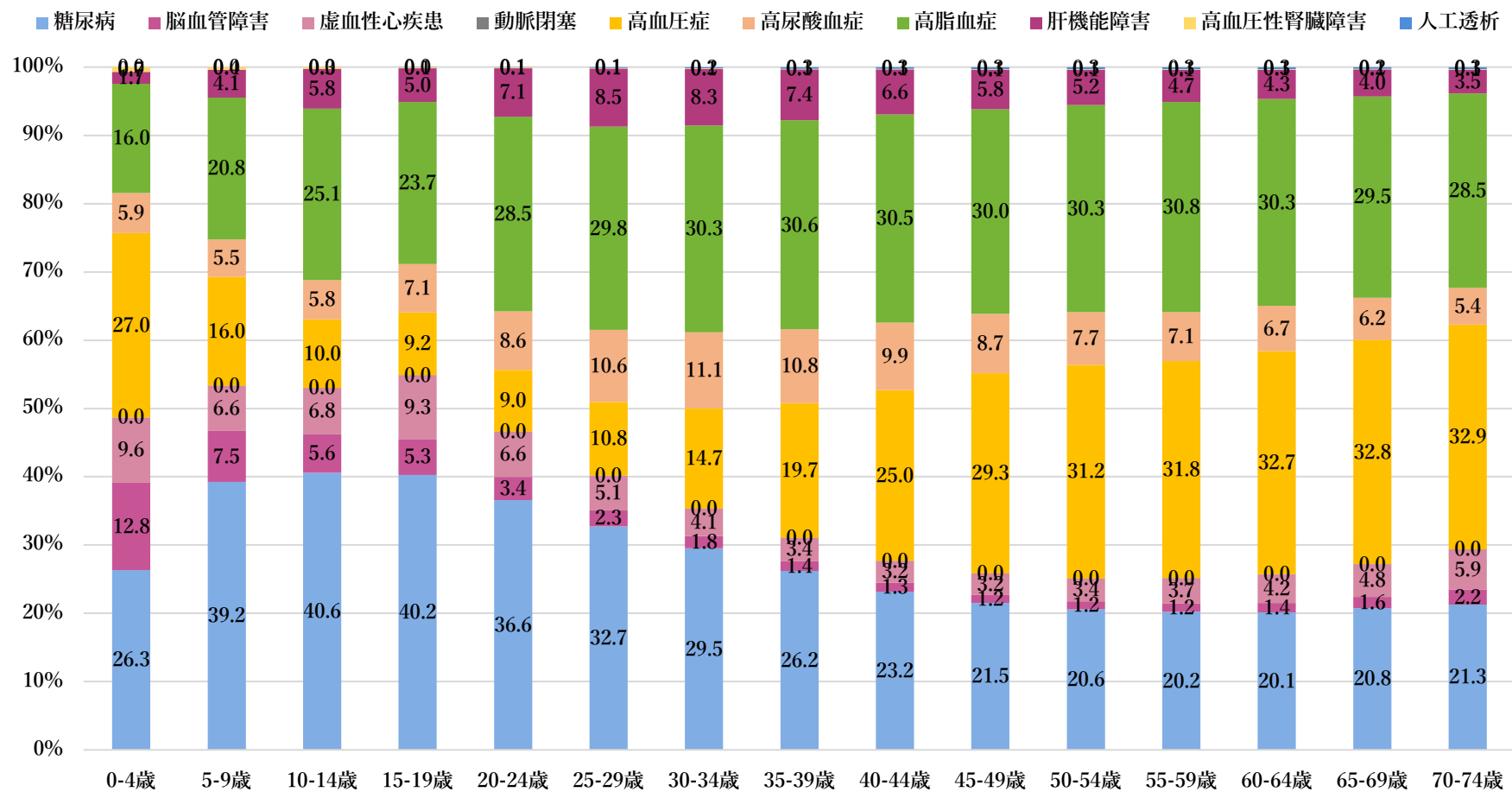
- 0-14 歳では糖尿病（38.6%）、高脂血症（22.9%）の割合が高く、他の年齢階層に比べ、脳血管障害、虚血性心疾患の割合が高い。
- 15-29 歳では、糖尿病（35.1%）高脂血症（28.4%）の割合が高く、他の年齢階層に比べ、高血圧性腎臓障害の割合が高い。
- 50 歳以降では、高血圧症、高脂血症、糖尿病の3疾患で全体の80%以上を占める。

令和3年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患 受診者数構成割合（%）  
【医科入院外】



(参考②)

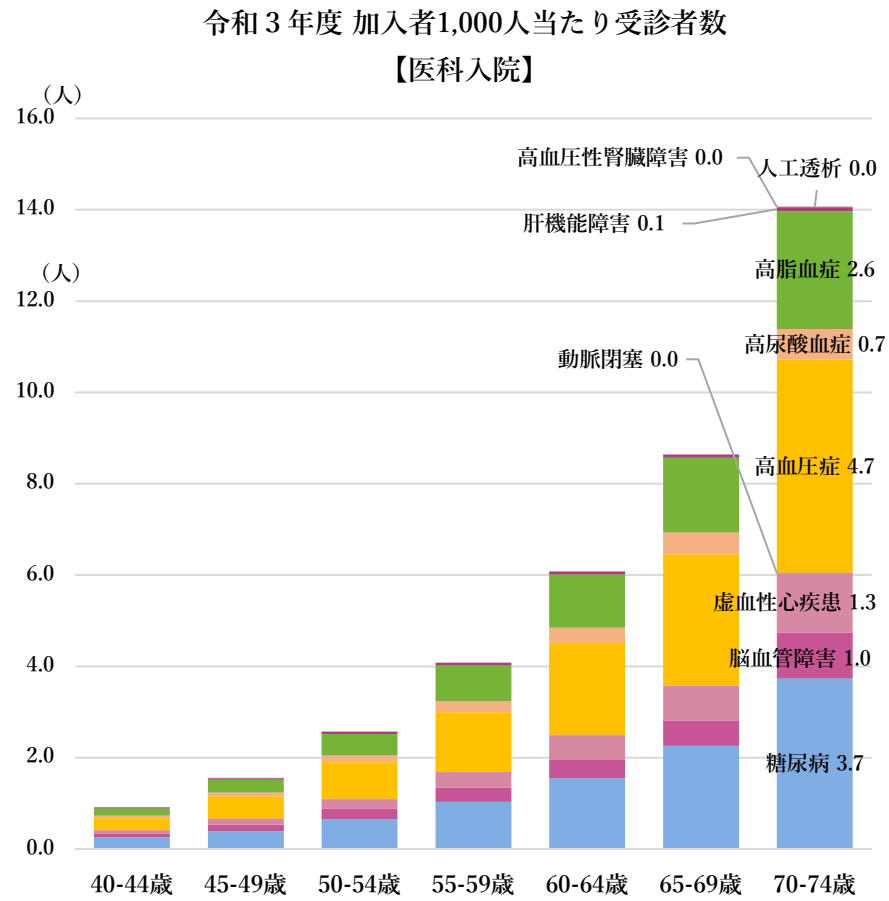
令和3年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患 受診者数構成割合 (%)  
【医科入院外】



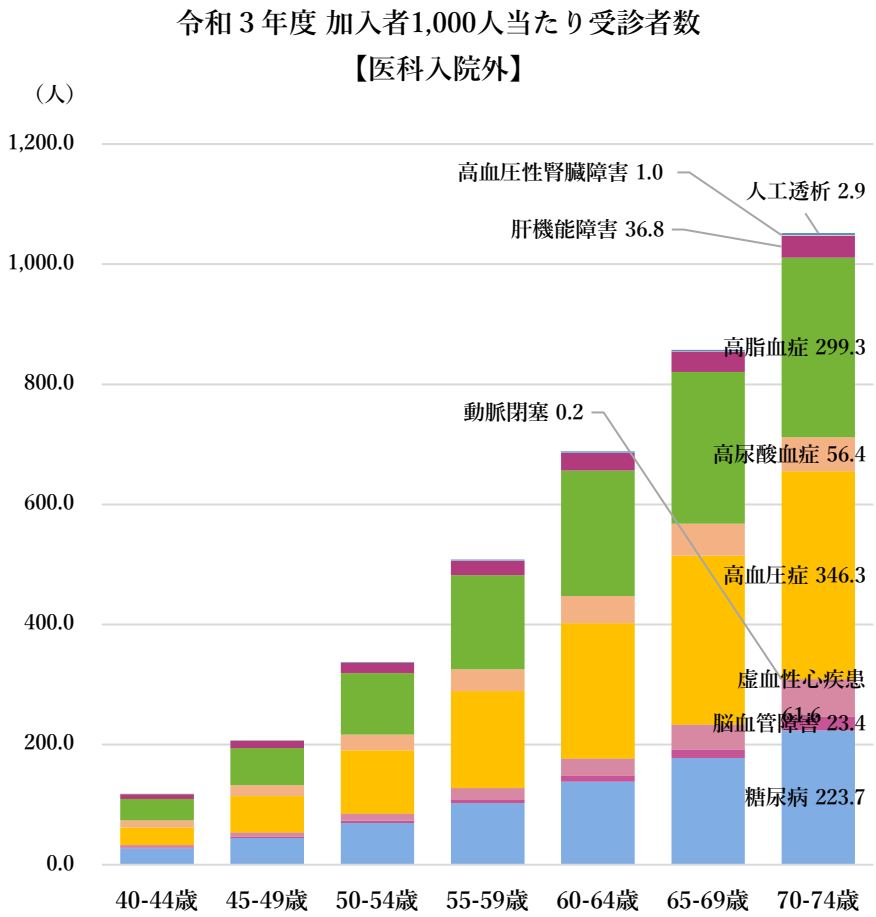
(参考③)

年齢階層（40-74歳）別にみた加入者1,000人当たり受診者数

1) 医科入院



2) 医科入院外



### 3. 生活習慣関連 10 疾患の医療費の動向

#### (1) 医療費の概況

##### 1) 医科入院

##### ① 医療費及び構成割合

- 医科入院（8,671 億円）に占める 10 疾患医療費（524 億円）の割合は 6.0%。
- 脳血管障害が 2.4%（208 億円）と最も高く、次いで、虚血性心疾患：1.7%（143 億円）、糖尿病：0.7%（63 億円）。

#### 令和 3 年度 医療費及び構成割合

1,308 組合	医療費（円）	構成割合（%）
疾病分類【計】	867,103,163,090	(100)
10 疾患【計】	52,393,573,520	6.0
糖尿病	6,307,932,440	0.7
脳血管障害	20,833,079,890	2.4
虚血性心疾患	14,317,945,470	1.7
動脈閉塞	28,532,320	0.0
(再掲) 高血圧症	4,374,116,150	0.5
高尿酸血症	318,315,990	0.0
高脂血症	1,106,853,770	0.1
肝機能障害	142,195,840	0.0
高血圧性腎臓障害	16,886,690	0.0
人工透析	4,947,714,960	0.6

② 対前年度比伸び率

- 高血圧性腎臓障害が▲15.6%と大きく減少。次いで、高尿酸血症：▲11.7%、高脂血症：▲9.7%。

令和3年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,235組合ベース）

	伸び率（%）
糖尿病	▲6.4
脳血管障害	▲1.1
虚血性心疾患	▲0.1
動脈閉塞	0.1
高血圧症	▲8.0
高尿酸血症	▲11.7
高脂血症	▲9.7
肝機能障害	▲6.7
高血圧性腎臓障害	▲15.6
人工透析	▲3.2

③ 加入者1人当たり医療費及び3要素

【加入者1人当たり医療費】

○ 脳血管障害が766円と最も高く、次いで、虚血性心疾患：527円、糖尿病：232円。

【受診率】

○ 高血圧症が6.4件と最も多く、次いで、糖尿病：5.3件、高脂血症：3.7件。

【1件当たり日数】

○ 脳血管障害が17.8日と最も長く、次いで、動脈閉塞：16.9日、人工透析：14.7日。

【1日当たり医療費】

○ 人工透析が3万3,285円と最も高く、次いで、虚血性心疾患：3万1,491円、脳血管障害：2万6,528円。

令和3年度 加入者1人当たり医療費及び3要素

1,308 組合	加入者1人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
糖尿病	232	5.3	11.1	3,918
脳血管障害	766	1.6	17.8	26,528
虚血性心疾患	527	1.7	9.7	31,491
動脈閉塞	1	0.0	16.9	5,316
高血圧症	161	6.4	10.9	2,309
高尿酸血症	12	1.2	12.3	830
高脂血症	41	3.7	10.7	1,034
肝機能障害	5	0.3	11.2	1,450
高血圧性腎臓障害	1	0.0	12.8	4,174
人工透析	182	0.4	14.7	33,285



④ 加入者1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率

- 高脂血症が▲25.0%、高血圧症が▲7.1%と大きく減少。要因として、受診率、1件当たり日数、1日当たり医療費がそれぞれ減少した。
- とくに、1件当たり日数が、高血圧症では▲2.5、高脂血症では▲2.4%の減少、また、1日当たり医療費が、高血圧症では▲3.4%の減少、高脂血症では▲6.0%と大きく減少した。

令和3年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,235組合ベース）

	加入者1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
糖尿病	▲5.0	0.7	▲4.0	▲2.3
脳血管障害	0.0	▲2.5	0.7	1.5
虚血性心疾患	0.0	3.0	▲3.6	1.5
動脈閉塞	-	12.5	▲4.8	▲7.3
高血圧症	▲7.1	▲1.5	▲2.5	▲3.4
高尿酸血症	0.0	▲2.5	▲1.1	▲7.7
高脂血症	▲25.0	▲0.9	▲2.4	▲6.0
肝機能障害	-	▲0.4	0.2	▲5.7
高血圧性腎臓障害	-	11.1	8.8	▲23.5
人工透析	0.0	▲4.9	0.8	2.1

## 2) 医科入院外

### ① 医療費構成割合

- 医科入院外(2兆7,270億円)に占める10疾患医療費(4,042億円)の割合は14.8%。
- 糖尿病が5.1%(1,383億円)と最も高く、次いで、高血圧症：3.5%(967億円)、高脂血症：2.7%(728億円)。

### 令和3年度 医療費及び構成比

1,308 組合	医療費 (円)	構成比 (%)
疾病分類【計】	2,727,028,883,400	(100)
10 疾患【計】	404,194,408,430	14.8
糖尿病	138,298,750,380	5.1
脳血管障害	7,288,976,760	0.3
虚血性心疾患	9,837,036,060	0.4
動脈閉塞	9,096,170	0.0
(再掲) 高血圧症	96,690,053,360	3.5
高尿酸血症	13,117,473,430	0.5
高脂血症	72,782,924,290	2.7
肝機能障害	2,369,475,420	0.1
高血圧性腎臓障害	49,617,460	0.0
人工透析	63,751,005,100	2.3

② 対前年度比伸び率

- 動脈閉塞が85.6%と大きく増加。次いで、高血圧性腎臓障害：12.0%、高尿酸血症：10.2%。一方、人工透析は▲1.6%減少した。

令和3年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,235組合ベース）

	伸び率（%）
糖尿病	7.2
脳血管障害	4.7
虚血性心疾患	7.6
動脈閉塞	85.6
高血圧症	0.4
高尿酸血症	10.2
高脂血症	5.0
肝機能障害	3.5
高血圧性腎臓障害	12.0
人工透析	▲1.6

③ 加入者1人当たり医療費及び3要素

【加入者1人当たり医療費】

○ 糖尿病が5,086円と最も高く、次いで、高血圧症：3,556円、高脂血症：2,677円。

【受診率】

○ 高血圧症が683.3件と最も多く、次いで、高脂血症：678.9件、糖尿病：492.9件。

【1件当たり日数】

○ 人工透析が12.6日と最も長く、次いで、動脈閉塞：1.6日、虚血性心疾患：1.5日。

【1日当たり医療費】

○ 人工透析が3万84円と最も高く、次いで、糖尿病：8,081円、脳血管障害：5,769円。

令和3年度1人当たり医療費及び3要素

1,308 組合	加入者1人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
糖尿病	5,086	492.9	1.3	8,081
脳血管障害	268	32.4	1.4	5,769
虚血性心疾患	362	89.9	1.5	2,622
動脈閉塞	0	0.3	1.6	627
高血圧症	3,556	683.3	1.2	4,407
高尿酸血症	482	167.8	1.3	2,142
高脂血症	2,677	678.9	1.3	3,144
肝機能障害	87	111.6	1.2	636
高血圧性腎臓障害	2	1.9	1.2	776
人工透析	2,344	6.2	12.6	30,084

④ 加入者1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率

- 高尿酸血症が11.1%、糖尿病が8.2%、虚血性心疾患が7.1%と大きく増加。要因として、とくに受診率が大きく増加したほか、1日当たり医療費が虚血性心疾患では4.5%、高尿酸血症では3.7%の増加となった。
- 人工透析は▲0.5%減少した。

令和3年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,235組合ベース）

	加入者1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
糖尿病	8.2	8.6	0.0	▲0.1
脳血管障害	4.8	4.1	▲0.7	2.3
虚血性心疾患	7.1	5.1	▲1.3	4.5
動脈閉塞	-	23.2	4.5	45.0
高血圧症	1.0	6.3	0.0	▲4.6
高尿酸血症	11.1	8.4	▲1.5	3.7
高脂血症	5.7	8.7	▲0.8	▲2.0
肝機能障害	0.0	10.9	▲0.8	▲5.2
高血圧性腎臓障害	-	10.7	▲1.6	3.1
人工透析	▲0.5	▲0.7	▲0.2	0.1

(2) 10 疾患でみた医療費の構成割合

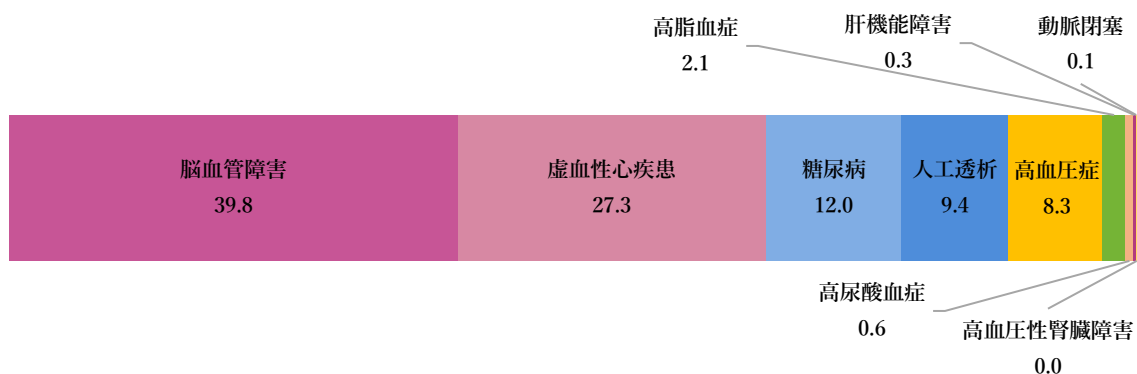
1) 医科入院

- 脳血管障害：39.8%が最も高く、次いで、虚血性心疾患：27.3%、糖尿病：12.0%。

生活習慣関連 10 疾患医療費の構成割合 (%)

【医科入院】

10 疾患計：523 億 9,357 万 3,520 円



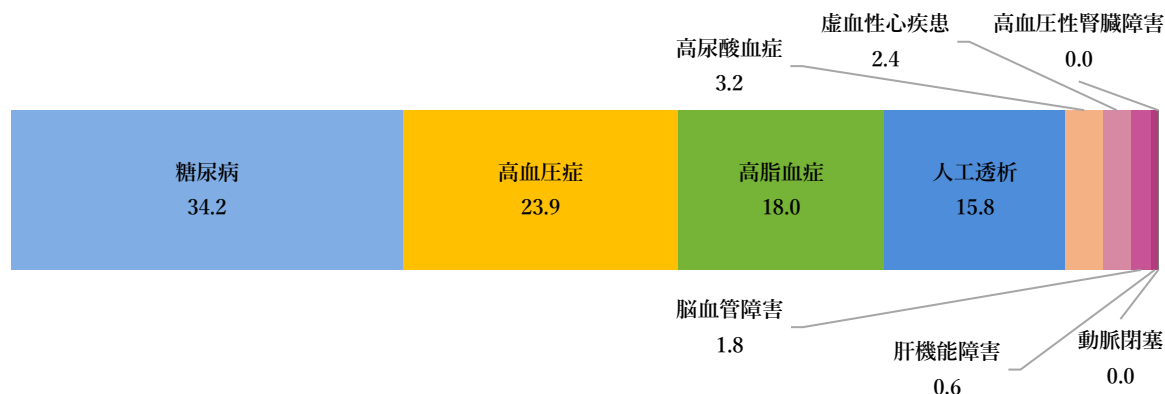
2) 医科入院外

- 糖尿病：34.2%が最も高く、次いで、高血圧症：23.9%、高脂血症：18.0%。また、人工透析：15.8%も高い割合となっている。

生活習慣関連 10 疾患医療費の構成割合 (%)

【医科入院外】

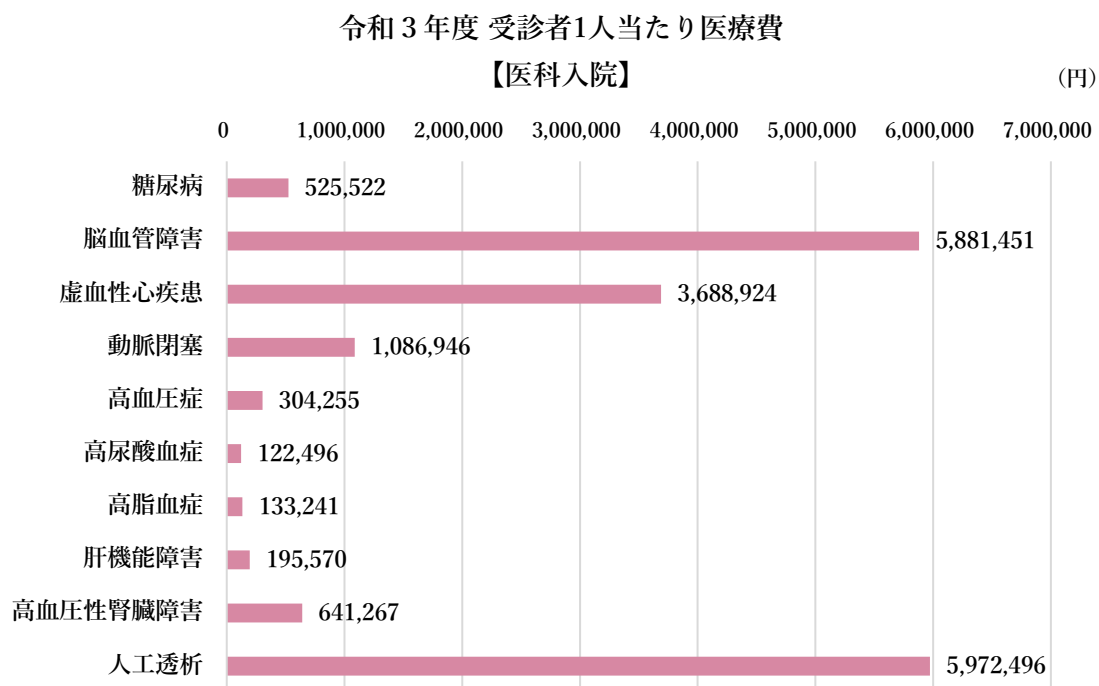
10 疾患計：4,041 億 9,440 万 8,430 円



(3) 受診者1人当たり医療費

1) 医科入院

- 人工透析が597万2,496円と最も高く、次いで、脳血管障害：588万1,451円、虚血性心疾患：368万8,924円。



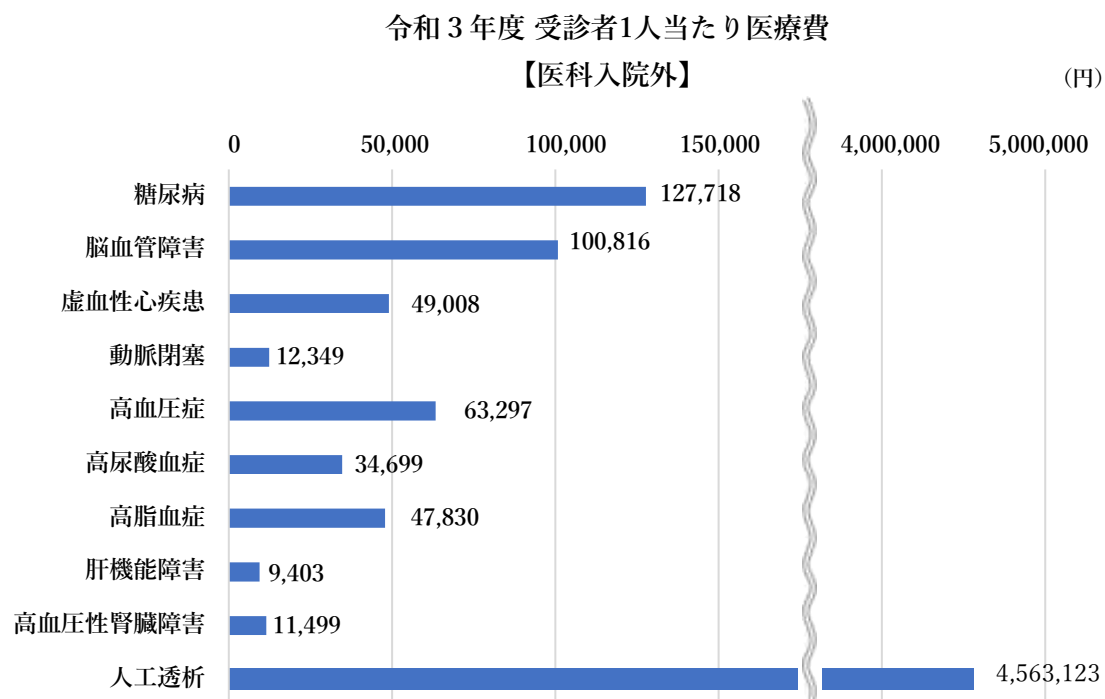
令和3年度受診者1人当たり医療費

1,308 組合	受診者1人当たり <sup>2</sup> 医療費(円)	加入者1,000人当たり 受診者数(人)	加入者1人当たり 医療費(円)
糖尿病	525,522	0.44	232
脳血管障害	5,881,451	0.13	766
虚血性心疾患	3,688,924	0.14	527
動脈閉塞	1,086,946	0.00	1
高血圧症	304,255	0.53	161
高尿酸血症	122,496	0.10	12
高脂血症	133,241	0.31	41
肝機能障害	195,570	0.03	5
高血圧性腎臓障害	641,267	0.00	1
人工透析	5,972,496	0.03	182

<sup>2</sup> 加入者1人当たり医療費=加入者1人当たり受診者数×受診者1人当たり医療費

## 2) 医科入院外

- 人工透析が 456 万 3,123 円と最も高く、次いで、糖尿病：12 万 7,718 円、脳血管障害：10 万 816 円。



### 令和 3 年度受診者 1 人当たり医療費

1,308 組合	受診者 1 人当たり 医療費(円)	加入者 1,000 人当たり 受診者数(人)	加入者 1 人当たり 医療費(円)
糖尿病	127,718	39.8	5,086
脳血管障害	100,816	2.7	268
虚血性心疾患	49,008	7.4	362
動脈閉塞	12,349	0.0	0
高血圧症	63,297	56.2	3,556
高尿酸血症	34,699	13.9	482
高脂血症	47,830	56.0	2,677
肝機能障害	9,403	9.3	87
高血圧性腎臓障害	11,499	0.2	2
人工透析	4,563,123	0.5	2,344

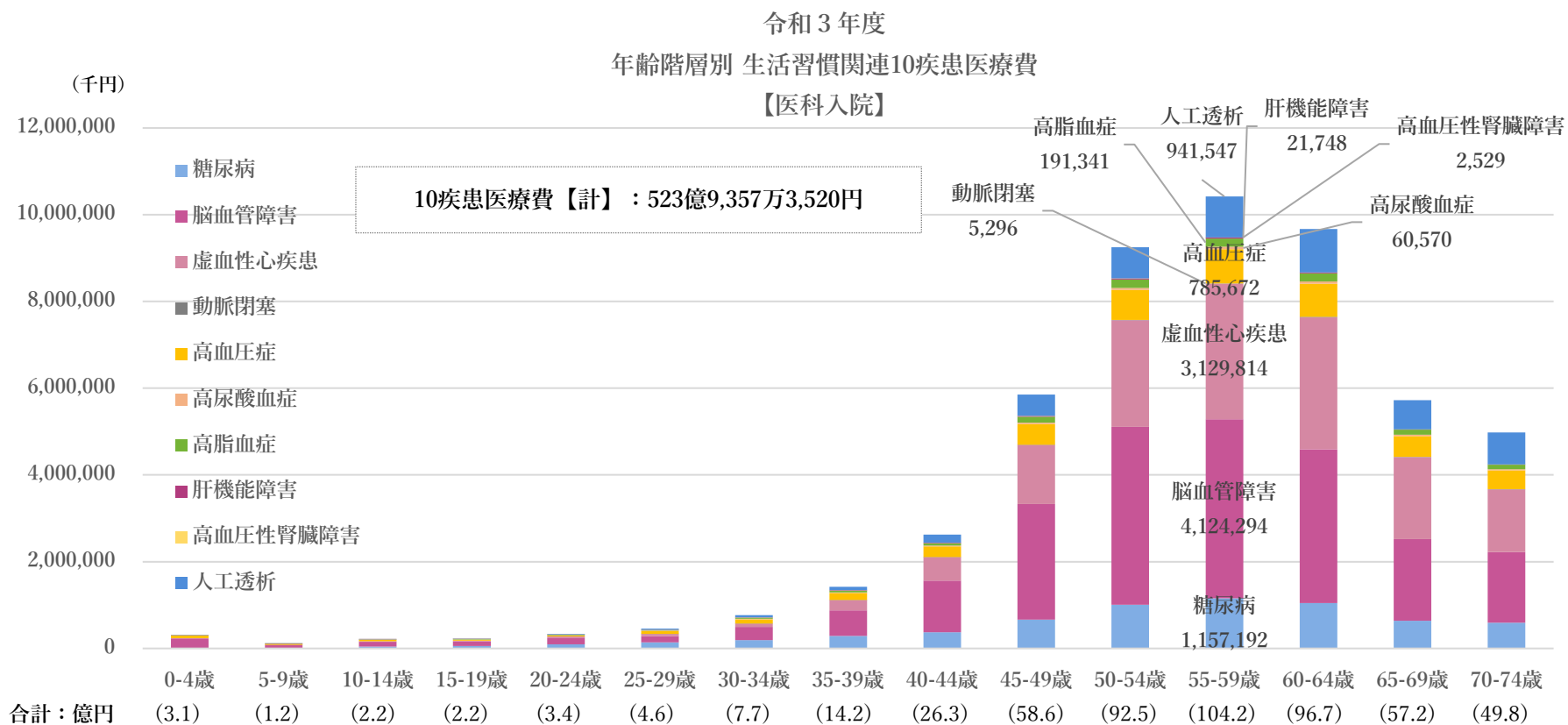


(4) 年齢階層別にみた医療費及び構成割合

1) 医科入院

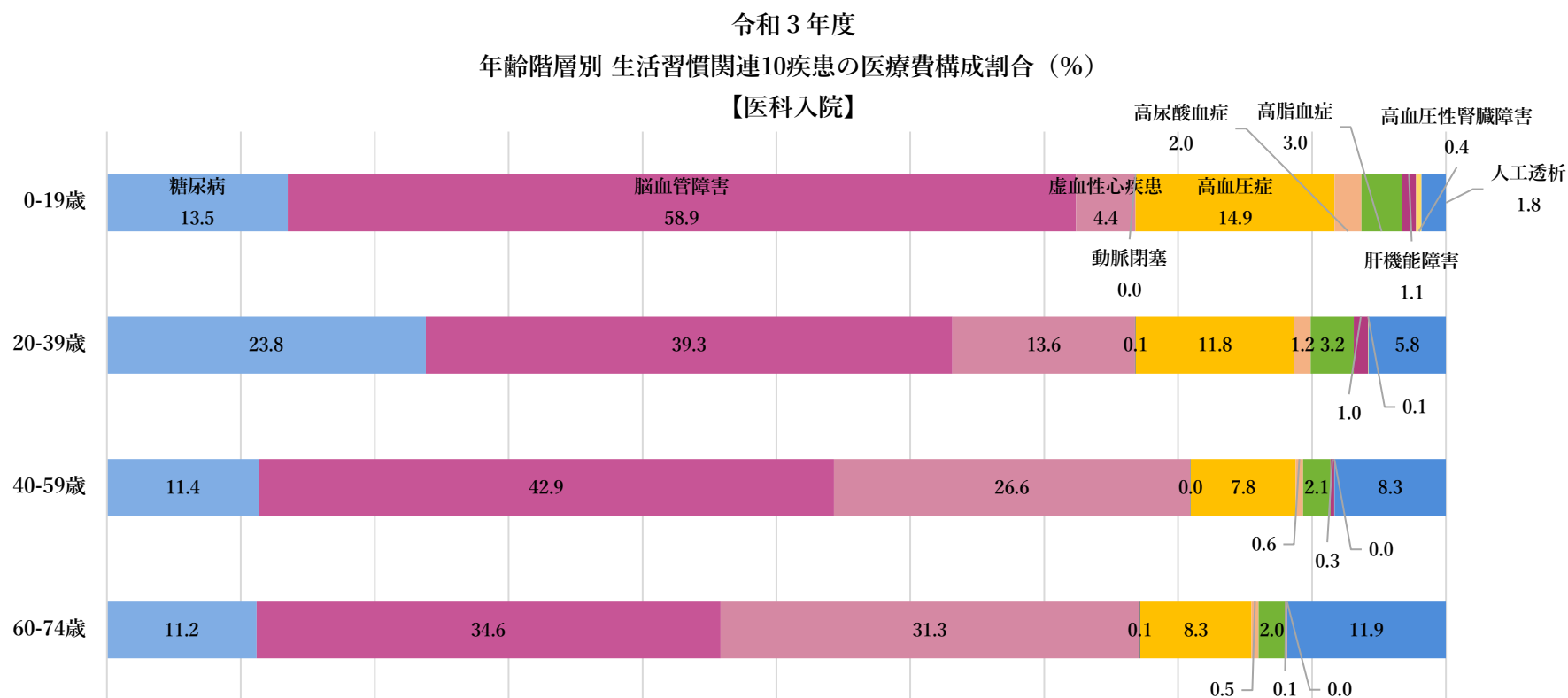
① 医療費

- 総額（積み上げ）では55-59歳（104.2億円）が最も高く、次いで、60-64歳（96.7億円）、50-54歳（92.5億円）。
- 55-59歳の疾患をみると、脳血管障害（41.2億円）が最も多く、次いで、虚血性心疾患（31.3億）、糖尿病（11.6億円）。



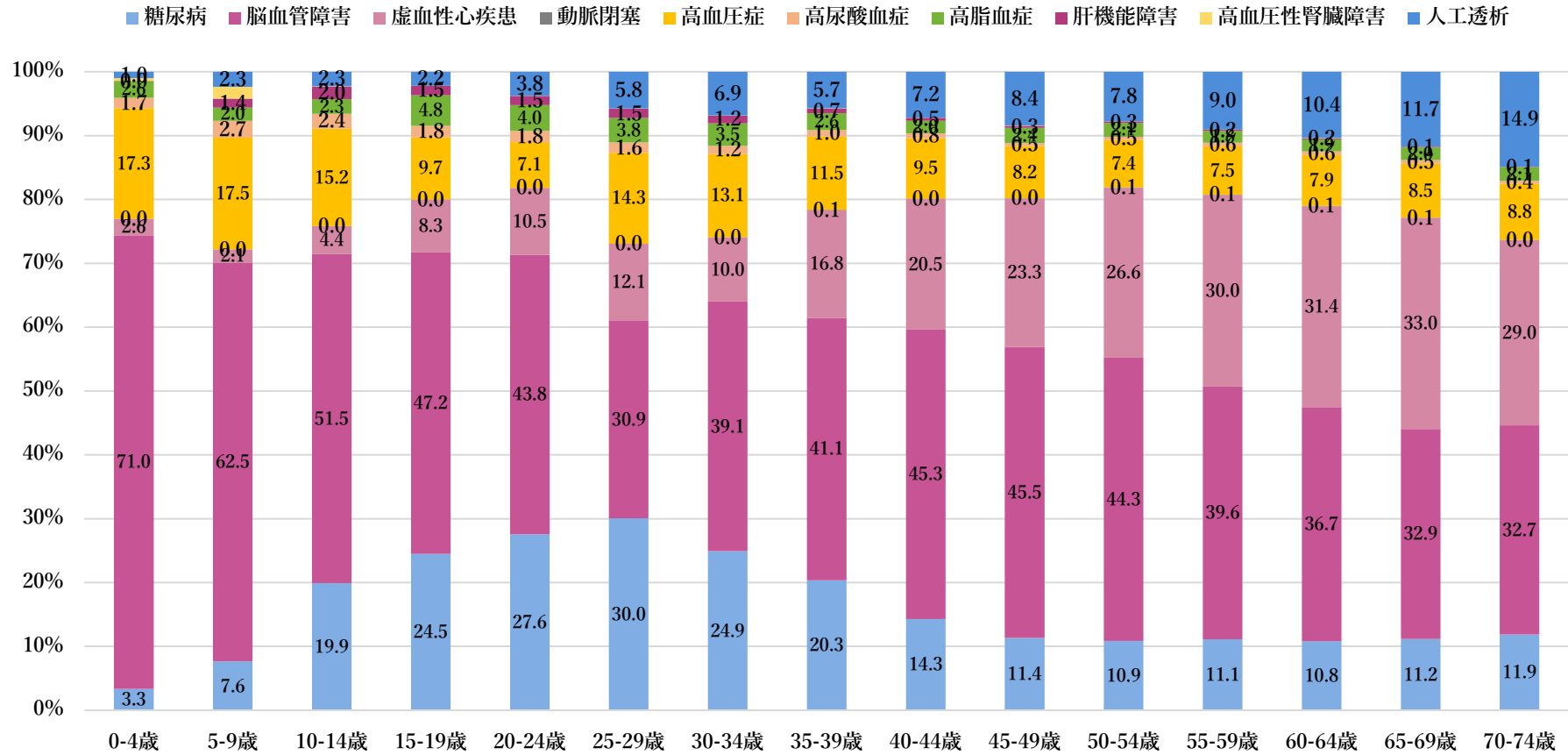
## ② 構成割合

- いずれの年齢階層区分でも脳血管障害の割合が最も高い。
- 0～19歳では、脳血管障害に次いで、高血圧症（14.9%）の割合が高く、20-39歳では、糖尿病（23.8%）の割合が高くなる。
- 40～59歳では、脳血管障害に次いで、虚血性心疾患（26.6%）の割合が高くなり、60～74歳でも虚血性心疾患（31.3%）の割合が高い。



(参考③)

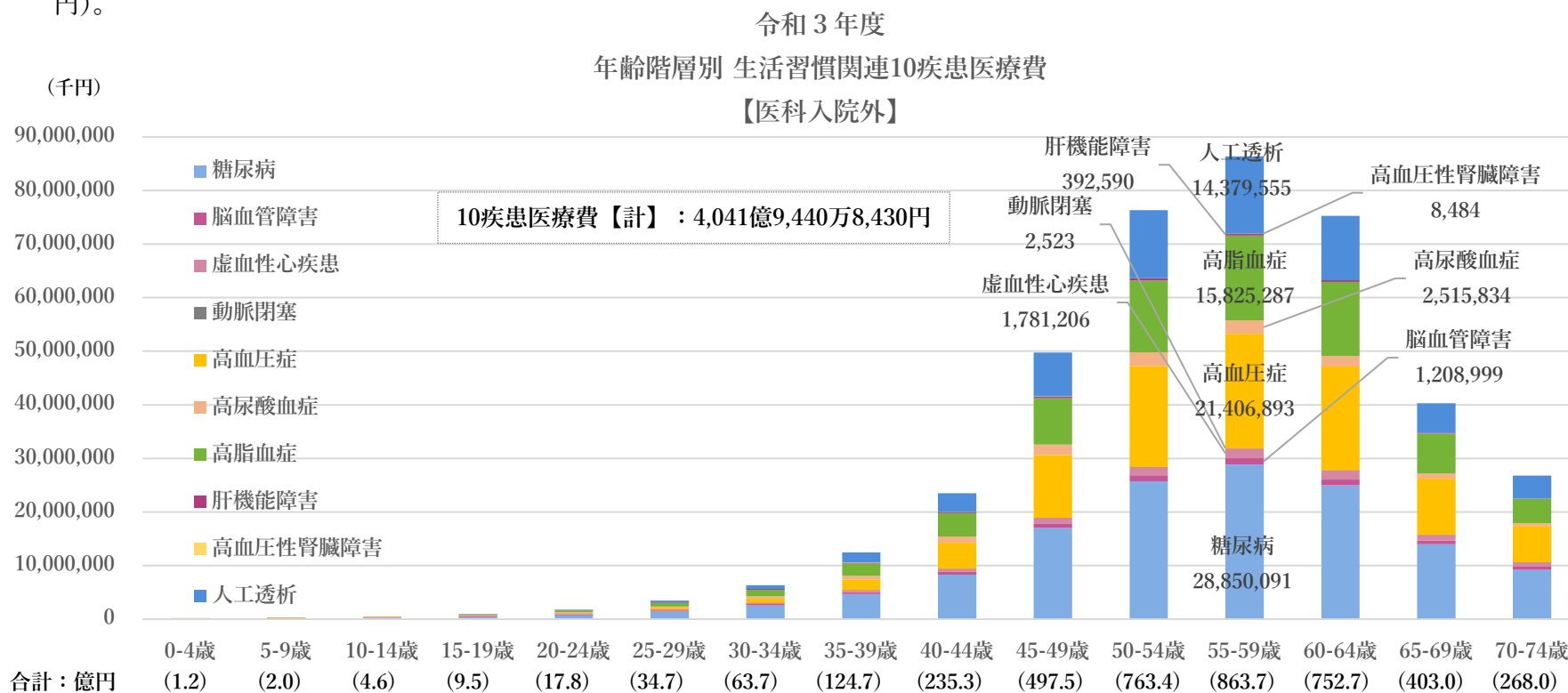
令和3年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患医療費構成割合  
【医科入院】



## 2) 医科入院外

### ① 医療費

- 総額（積み上げ）では55-59歳（863.7億円）が最も高く、次いで、50-54歳（763.4億円）、60-64歳（752.7億円）。
- 総額が最も高い55-59歳の疾患をみると、糖尿病（288.5億円）が最も多く、次いで、高血圧症（214.1億）、高脂血症（158.3億円）。



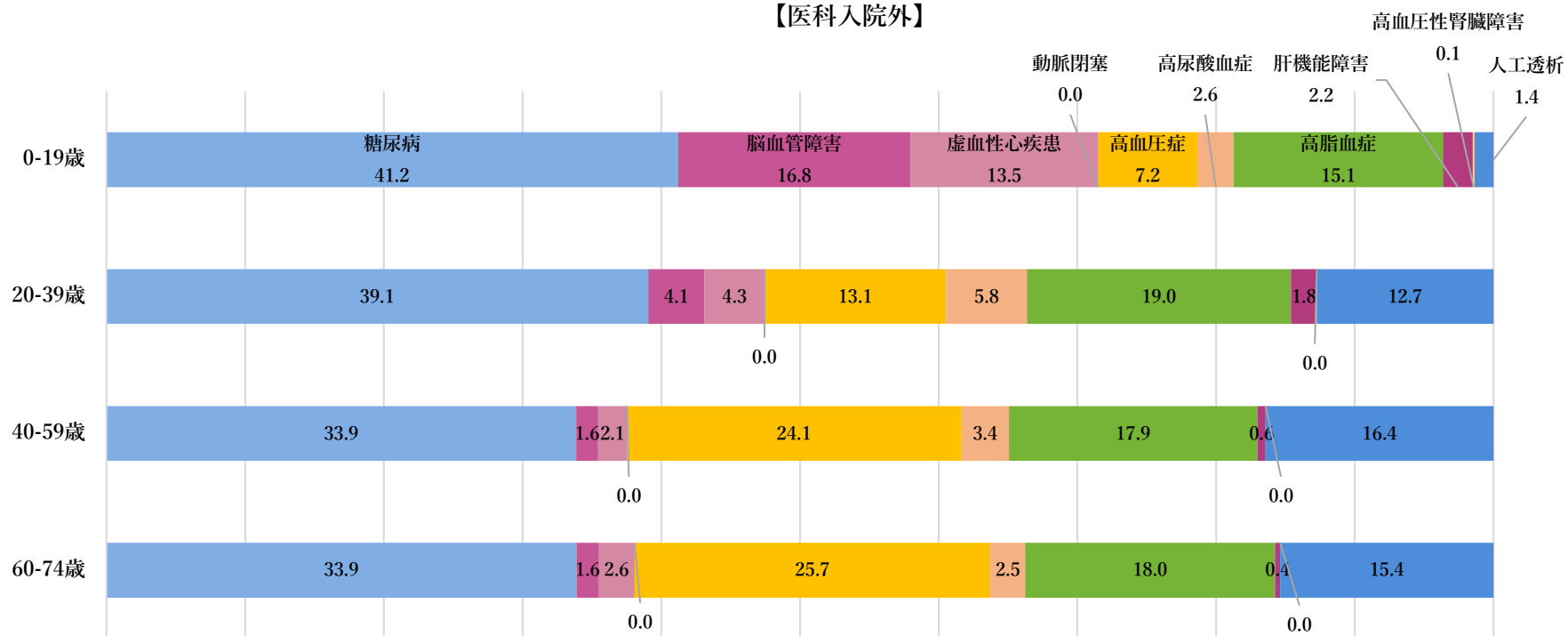
## ② 構成割合

- どの年齢階層区分でも糖尿病の割合が最も高い。
- 0～19歳では、糖尿病に次いで、脳血管障害（16.8%）の割合が高く、20-39歳では高脂血症（19.0%）の割合が高くなる。
- 40～59歳では、糖尿病に次いで、高血圧症（24.1%）の割合が高なり、60～74歳でも高血圧症（25.7%）の割合が高い。

令和3年度

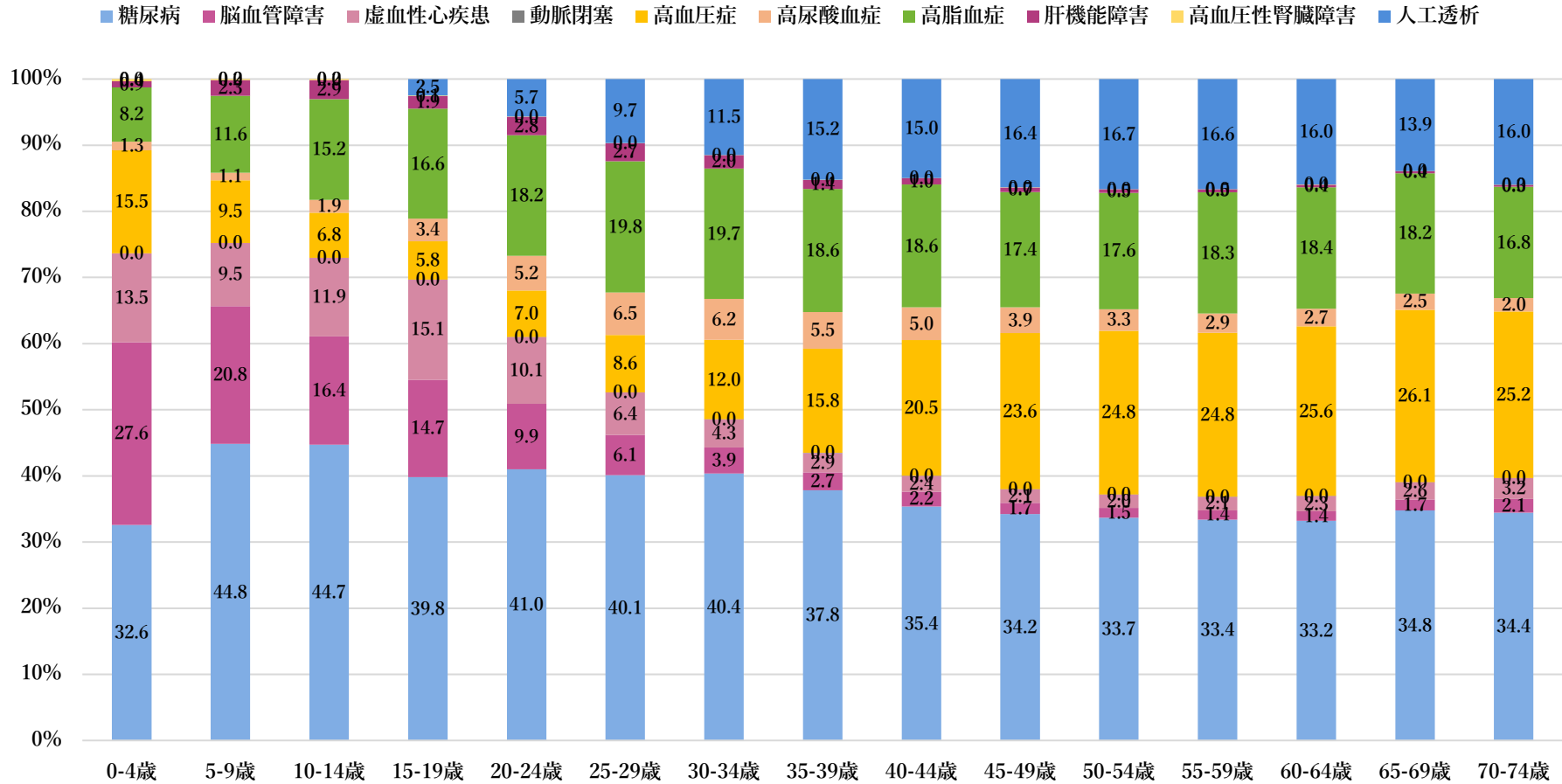
年齢階層別 生活習慣関連10疾患の医療費構成割合（%）

【医科入院外】



(参考④)

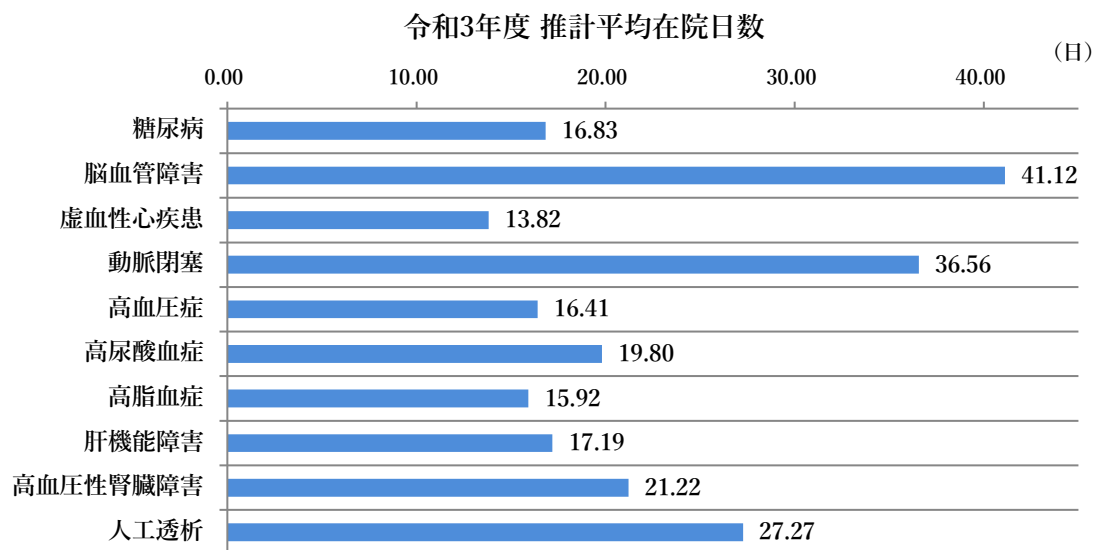
令和3年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患医療費構成割合  
【医科入院外】



(5) 推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費、推計新規入院件数

1) 推計平均在院日数

○ 脳血管障害が41.12日と最も長く、次いで、動脈閉塞：36.56日、人工透析：27.27日。



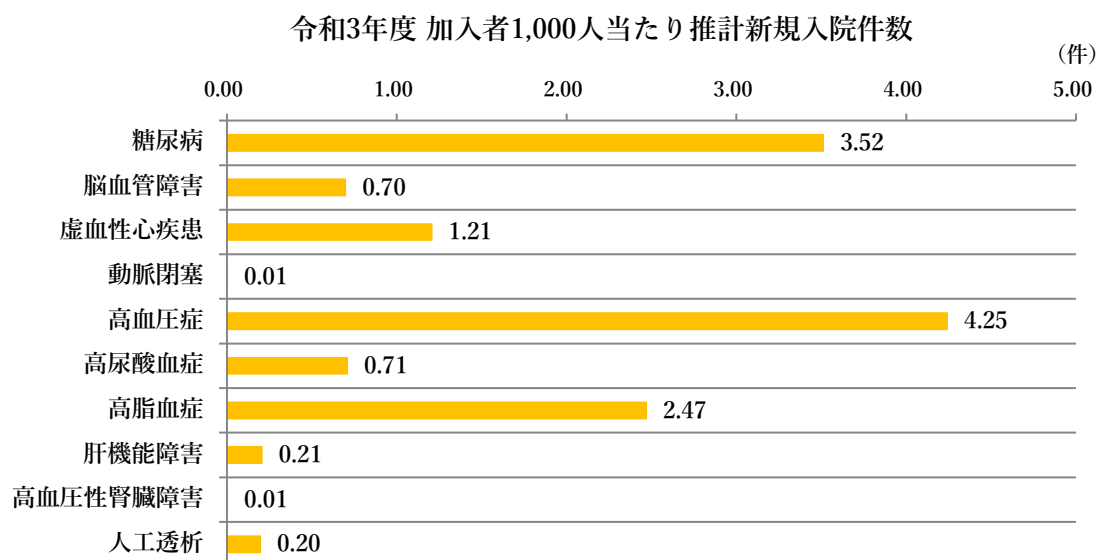
2) 推計1入院当たり医療費

○ 脳血管障害が109万938円と最も高く、次いで、人工透析：90万7,568円、虚血性心疾患：43万5,196円。



### 3) 加入者 1,000 人当たり推計新規入院件数

- 高血圧症：4.25 件が最も高く、次いで、糖尿病：3.52 件、高脂血症：2.47 件となっている。



### 推計平均在院日数及び推計 1 入院当たり医療費、推計新規入院件数

	推計平均在院日数 (日) <sup>3</sup>	推計 1 入院当たり 医療費 (円) <sup>4</sup>	加入者 1,000 人当 たり推計新規入院 件数 (件) <sup>5</sup>
糖尿病	16.83	65,944	3.52
脳血管障害	41.12	1,090,938	0.70
虚血性心疾患	13.82	435,196	1.21
動脈閉塞	36.56	194,358	0.01
高血圧症	16.41	37,881	4.25
高尿酸血症	19.80	16,435	0.71
高脂血症	15.92	16,460	2.47
肝機能障害	17.19	24,928	0.21
高血圧性腎臓障害	21.22	88,567	0.01
人工透析	27.27	907,568	0.20

<sup>3</sup> 退院日を含む平均在院日数の推計値である。

<sup>4</sup> 入院患者 1 人に掛かる入院してから退院までの医療費の推計値である。

<sup>5</sup> 当該年度の 4 月～3 月までの各月に入院した患者数の合計 (推計) を 1,000 倍したものである。

なお、「入院医療費の 3 要素分解」については次頁 (p41) を参照のこと。



### 【参考】入院医療費の3要素分解について

入院医療費は、①【推計新規入院件数】（入院発生）、②【推計平均在院日数】（入院期間）、③【入院の1日当たり医療費】（入院単価）の3要素の積に分解でき、さらに、「推計新規入院件数」と「推計1入院当たり医療費」（\*推計平均在院日数に入院の1日当たり医療費を乗じて得た1入院当たり医療費）の積に分解できます。

---

#### 推計平均在院日数

---

$$\text{推計平均在院日数} = \text{1件当たり日数} \times \frac{\text{月の日数} * -1 \text{日}}{\text{月の日数} - 1 \text{件当たり日数}}$$

---

#### 推計1入院当たり医療費

---

$$\text{推計1入院当たり医療費} = \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費}$$

---

#### 推計新規入院件数

---

$$\text{推計新規入院件数} = \text{受診率(件)} \times \frac{\text{月の日数} - 1 \text{件当たり日数}}{\text{月の日数} - 1 \text{日}}$$

---

#### 入院医療費

---

$$\begin{aligned} \text{入院医療費} &= \text{入院受診延日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計1入院当たり医療費} \end{aligned}$$

---

資料：厚生労働省「推計新規入院件数、推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費～入院医療費の3要素分解～」(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/iryouhoken03/06.html>) 及び「推計平均在院日数の数理分析(II)」・「算定式と関係式一覧」(p.3)をもとに作成

---

#### \*計算式における「月の日数」について

---

##### 【単月】の場合

1ヵ月の暦日数。

例) 1月は31日。2月は28日または29日(閏年)

---

##### 【複数月】の場合

複数月の日数の合計を月数で割ったもの。

例) 12ヵ月の場合：365(閏年366)日÷12=30.42(≒30.5)

---